

# 環境経営レポート

株式会社 モリックス

## 《ご挨拶》

当社は昭和47年創業以来、金属プレス加工、プラスチック成型、及び金型製作を主体として歩んでまいりました。金属部品とプラスチック部品の融合部、モジュール品を得意とし、金型製作から部品加工までの一貫製作をおこなっております。当社は環境経営に本格的に取り組み始めて10年余りが経ちますが、今後も慢心することなく、現在の素晴らしい環境を次世代に残すため、何が出来るかを考え、取り組んでいく所存です。以下、「環境経営レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に生かして行きたいと存じます。

株式会社 モリックス  
代表取締役社長  
柳澤 大輔

## 《目次》

1. 組織の概要	P-1
2. 対象範囲	P-1
3. 環境経営方針	P-2
4. 環境経営目標	P-3
5. 環境経営計画	P-3
6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容	P-4
7. 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価、並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画	P-5・6
8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無	P-7
9. 代表者による全体の評価と見直し・指示	P-7

## 1. 組織の概要

### 1. 事業所及び代表者名

株式会社 モリックス  
代表取締役社長 柳澤 大輔

### 2. 所在地

〒370-2216 群馬県甘楽郡甘楽町大字金井277-1

### 3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

<代表責任者及び環境管理責任者>

代表取締役社長 柳澤 大輔  
担当 : 同上  
TEL : 0274-60-4071  
FAX : 0274-74-6371

### 4. 事業の内容

金属プレス加工 プラスチック成型 金型製作

### 5. 事業規模

活動規模	単位	2022年度	2023年度
従業員数	人	7	7
資本金	万円	1000	1000
延べ床面積	m <sup>2</sup>	880	880

## 2. 対象範囲

### 1. 対象範囲（認証・登録範囲）

株式会社モリックス 全組織及び全活動

## 環境経営方針

### 〔基本理念〕

当社は、環境に対する社会的使命と責任を、果たすことを経営の重要課題と位置付け、全社員は環境保全施策を推進します。

### 〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 当社の主力事業である、金型製作・板金プレス加工・プラスチック成形の各領域において、技術的・経済的な事情を考慮の上、環境に与える影響を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。
  - ①二酸化炭素排出量削減のため、使用電力削減・使用化石燃料削減・廃棄物の削減に努めます。
  - ②事業活動で発生する廃棄物は、発生を抑制するとともに再生利用の向上に努めます。
  - ③限りある水は、使用量削減のため節水に努めます。
2. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
4. この環境方針が、確実に実施され、維持されるよう年度教育・訓練計画に取り込み、全社員に周知します。
5. 地域社会への調和と融和に配慮するとともに、適切な環境管理を行います。



2021年 4月 1日

株式会社 モリックス

代表取締役

柳澤 大輔

4. 環境経営目標 5. 環境経営計画

環境経営目標（環境経営レポート対象期間）			環境経営計画（環境経営レポート対象期間）
項目	基準年 （実績）	2023年度 目標	実施事項
1 売り上げ 100万円当 り二酸化炭 素排出量 の維持  (kg/百万 円)	2022年度	2022年度に対して± 10%以内に維持	①空調温度適正化・表示
	510.43		②照明・PC電源不要時のOFFの推進
	40834.25 (kg-CO2)		③エアコン清掃の実施
2 売り上げ 100万円当 り廃棄物排 出量の維持  (kg/百万 円)	2022年度	2022年度に対して± 10%以内に維持	④エコドライブ推進
	7.6		⑤社用車の点検・整備
	180 (kg)		⑥原因分析と削減方法の検討
3 従業員一 人当たりの 水使用量 の維持  (m <sup>3</sup> )	2022年度	2022年度に対して± 10%以内に維持	⑦使用電力の最大値の削減
	9		①分別ルールの徹底
			②廃棄物置場の整備
4 化学物質 取扱及び 管理の徹 底		取扱商品の調査	③産廃業者との契約書の確認
			④マニフェスト管理方法の確立
			⑤裏紙使用ルールの徹底
5 本業に関 する目標			⑥原因分析と削減方法の検討
			①毎月のメータを確認する(漏水防止)
			②節水表示
			③増量ノズルへの交換
			④原因分析と削減方法の検討
			①取扱商品(化学物質含有)の調査
			②購入量の把握
			③SDSの入手
			①端材をより少なくする設計
			②端材リサイクルの推進
			③プラスチックリサイクルの推進

※ ①と②の実績は、上段は目標に対しての実績、下段は総排出量。

※ 2022年度実績の二酸化炭素排出係数は、東京電力・令和4年度公表（0.457）で算出。

## 6. 環境経営計画に基づき実施した取組内容

### 空調温度適正化・表示



### 節水表示



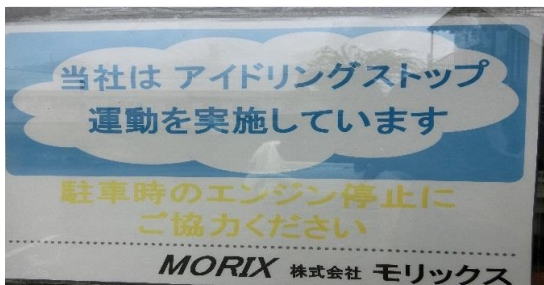
### 環境に配慮した取組等



施設内の照明LED化90%以上達成



廃棄物の分別表示

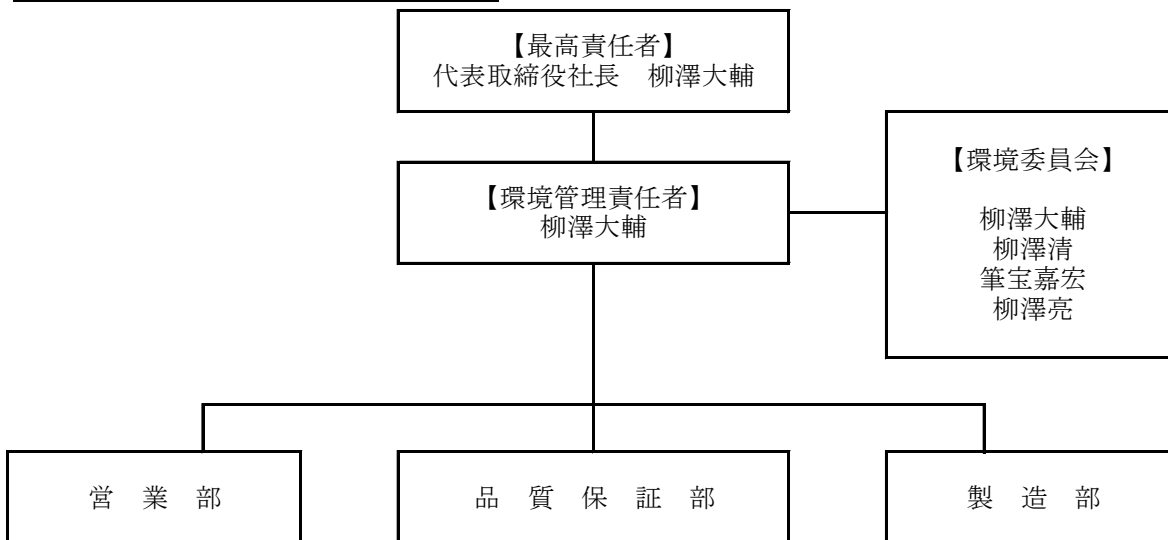


アイドリングストップ運動



敷地内の緑化

### エコアクション21取組の実施体制



## 7. - 1 環境経営目標及び環境経営計画の実績・取組結果とその評価

環境経営目標（環境経営レポート対象期間）						環境経営計画（環境経営レポート対象期間）		
項目	基準年 （実績）	2023年度 目標	2023年度 目標値	2023年度 実績	目標の達 成状況	実施事項	評価	
1 売り上げ 100万円 当り二酸 化炭素 排出量 の維持	2022年度	510.43	2022年 度に対し て、± 10%以 内に維 持	459.39～ 561.47	476.85	達成	①空調温度適正化・表示	◎
							②照明・PC電源不要時のOFFの推進	◎
							③エアコン清掃の実施	○
							④エコドライブ推進	○
							⑤社用車の点検・整備	◎
							⑥原因分析と削減方法の検討	○
							⑦使用電力の最大値の削減	○
2 売り上げ 100万円 当り廃棄 物排出 量の維 持	2022年度	7.6	2022年 度に対し て、± 10%以 内に維 持	6.84～ 8.36	7	達成	①分別ルールの徹底	◎
							②廃棄物置場の整備	◎
							③産廃業者との契約書の確認	◎
							④マニフェスト管理方法の確立	◎
							⑤裏紙使用ルールの徹底	○
							⑥原因分析と削減方法の検討	○
3 従業員 一人当 たりの水 使用量 の維持	2022年度	9	2022年 度に対し て、± 10%以 内に維 持	8.1～ 9.9	11.43	未達成	①毎月のメータを確認する（漏水防止）	△
							②節水表示	◎
							③増量ノズルへの交換	○
							④原因分析と削減方法の検討	○
4 化学物 質取扱 及び管 理の徹 底	—	—	取扱商 品の調 査	—	—	達成	①取扱商品（化学物質含有）の調査	◎
							②購入量の把握	◎
							③SDSの入手	◎
5 本業に 関する 目標	①端材をより少なくする設計				実績値		◎	
	②端材リサイクルの推進						◎	
	③プラスチックリサイクルの推進					年間800kg再生利用	◎	

※環境経営計画の取組・評価【◎良く取組めた・○取組めた・△取組みが不足していた・×取組めなかった】

※主な環境負荷実績

環境負荷	2022年度 （基準年）	2023年度 （環境活動レポ ート対象期間）
①二酸化炭素排出量（kg-CO <sub>2</sub> ）	40834.25	33379.21
②廃棄物排出量（kg）	180	100
③水資源投入量（m <sup>3</sup> ）	63	81

## 7. - 2 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

環境経営目標(環境経営レポート対象期間の次年度及び中長期目標)						環境経営計画(環境経営レポート対象期間の次年度)
項目	基準年 (実績)	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標	実施事項	
1 売り上げ 100万円当 り二酸化炭 素排出量 の維持	2022年度 (kg- CO2/100 万円)	2022年度 に対して、 ±10%以 内に維持	2022年度 に対して、 ±10%以 内に維持	2025年度 に対して、 ±10%以 内に維持	①空調温度適正化・表示	
					②照明・PC電源不要時のOFFの推進	
					③エアコン清掃の実施	
					④エコドライブ推進	
					⑤社用車の点検・整備	
					⑥原因分析と削減方法の検討	
					⑦使用電力の最大値の削減	
2 売り上げ 100万円当 り廃棄物排 出量の維持	2022年度 (kg/100万 円)	2022年度 に対して、 ±10%以 内に維持	2022年度 に対して、 ±10%以 内に維持	2025年度 に対して、 ±10%以 内に維持	①分別ルールの徹底	
					②廃棄物置場の整備	
					③産廃業者との契約書の確認	
					④マニフェスト管理方法の確立	
					⑤裏紙使用ルールの徹底	
					⑥原因分析と削減方法の検討	
3 従業員一 人当たりの 水使用量の 維持	2022年度 (m <sup>3</sup> /総従 業員数)	2022年度 に対して、 ±10%以 内に維持	2022年度 に対して、 ±10%以 内に維持	2025年度 に対して、 ±10%以 内に維持	①毎月のメータを確認する(漏水防止)	
					②節水表示	
					③増量ノズルへの交換	
					④原因分析と削減方法の検討	
4 化学物質 取扱及び 管理の徹 底	—	取扱商品 の調査	取扱商品 の調査	取扱商品 の調査	①取扱商品(化学物質含有)の調査	
					②購入量の把握	
					③SDSの入手	
5 本業に関 する目標	①端材をより少なくする設計					
	②端材リサイクルの推進					
	③プラスチックリサイクルの推進					

次年度の環境経営目標及び環境経営計画について

2023年度は冷却塔ボールタップの調整不具合で、水使用量が増加してしまっただが、目標としては妥当であったと評価する。  
2023~2025年度の中長期目標についても継続とし、2026年度~は新たに「2025年度基準」で目標を設定する。

## 8. 環境関連法規などの遵守状況の確認及び評価の結果、 並びに違反、訴訟などの有無

### 1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守事項	遵守状況
大気汚染防止法(群馬県の生活を保護する条例)	届出	遵法
下水道法	届出	遵法
騒音規制法	届出	遵法
振動規制法	届出	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・委託業者との契約とマニフェスト管理 ・水銀使用製品の保管、処理委託、収集・運搬、処分・再生を適切に行う	遵法
労働安全衛生法	作業主任者の選任	遵法
消防法	消防用設備の設置・点検	遵法
フロン排出抑制法	簡易点検の実施	遵法

### 2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2024年3月31日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。

## 9. 代表者による全体の評価と見直し・指示

総括：

2022年度に上昇した電気料金は、補助金等により2021年度水準に戻った。

ただ、補助金の期間や国際情勢がどうなるか不透明なため、さらなる節電を模索していく必要がある。

問題点として、4月度に冷却塔ボルトアップの調整不具合で、水使用量が増加してしまった。

点検頻度を増やすよう指示した（使用前点検・週一点検）。